

## コラム 「北海道型 SMA の施工の手引き(案)」と「北海道における中温化舗装技術の適用に関する指針(案)」 において土木研究所の研究成果を反映

産・学・官の有識者で構成され、当研究所も参画した「積雪寒冷地における舗装技術検討委員会」(主催：国土交通省北海道開発局)における調査検討から得られた知見をもとに、北海道型 SMA を施工する場合や積雪寒冷地において中温化舗装技術を適用する場合の方法や留意事項等を取りまとめた「北海道型 SMA の施工の手引き(案)」ならびに「北海道における中温化舗装技術の適用に関する指針(案)」を、平成 26 年 7 月に当研究所ホームページに掲載しました。これらの 2 つの資料には寒地保全技術グループ 寒地道路保全チームの研究成果が反映されており、作成作業に貢献しました。

国土交通省北海道開発局の発注工事において技術資料として活用されており、積雪寒冷地の道路舗装に携わる多くの技術者の一助となり、舗装の品質や耐久性の向上に役立つことが期待されます。

### (1) 北海道型 SMA の施工の手引き(案)

北海道型 SMA とは、表面に近い部分は排水性舗装に似たテクスチャ(きめ深さ、凹凸)を有しつつ、内部は骨材間隙にフィラーとアスファルトを多く含むアスファルトモルタルが満たされた密実な構造を有する混合物であり、北海道の積雪寒冷環境下においても高い耐久性を示すと考えられます(図-1)。このような混合物をつくるためには、材料の選定、配合設計、施工の各段階において様々な留意点があり、本手引き(案)にそれら留意点を取りまとめたものです。

### (2) 北海道における中温化舗装技術の適用に関する指針(案)

中温化舗装技術は加熱アスファルト混合物の製造温度を低減する舗装技術であり、二酸化炭素排出量を削減することが可能となります。本指針(案)では、当チームが解析を実施した試験施工結果を基に、中温化舗装技術の活用方法を 2 つに分けて紹介しています。一つ目は、通常期に製造温度を 30℃程度低減し二酸化炭素排出量の削減を目的とした場合の適用方法、二つ目は、寒冷期施工において品質を確保するための施工性改善を目的とした場合の適用方法や留意事項を示してあります。

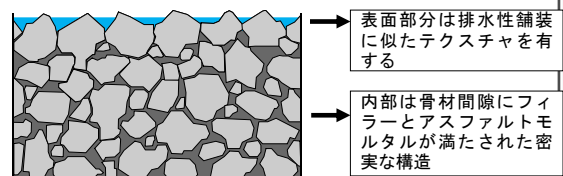


図-1 北海道型 SMA の概要図

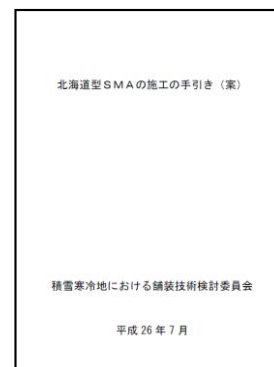


図-2 北海道型 SMA の施工の手引き(案)

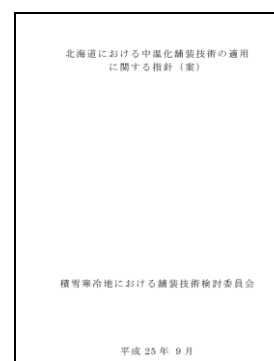


図-3 北海道における中温化舗装技術の適用に関する指針(案)